

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	運営理念をユニット内に掲示し、月1回のユニット会議内でスタッフに共有意識を持つようになっているが、理念自体を地域密着型サービスの理念としては不足している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を考え掲示し、スタッフで共有する。	管理者、スタッフ等、事業所内で地域密着型サービスの運営理念を作り、月1回のユニット会議で話し合いを持ち、随時確認する。理念に対して意識を共有し実践につなげる。	6ヶ月
2	4	運営推進会議について。2か月に一回運営推進会議を実施しているが、参加者が限られており、地域の理解と支援を得る機会が少ない。	地域住民を交えた参加者の確保と要請が課題である。そのため、地域の自治会長や民生員、家族を交えた運営推進会議を実施し、幅広く意見を取り入れ、運営に生かしていく。	地域の自治会長や民生員に運営推進会議に参加要請を実施する。家族の参加率を上げるため、会議の日程の変更を検討。	3ヶ月
3	35	災害対策。東山地区(有料老人ホーム、特養、GH)で年に2回火災の避難訓練を実施しているが、GH独自の避難訓練は実施されていない。	年2回の東山地区での避難訓練にも参加し、且つGH東山独自の避難訓練も定期的実施していく。	管理者、防火管理者、防災委員で避難訓練について検討し、GH独自の避難訓練を実施する。以降は定期的に(2か月に1回)に避難訓練を実施しスタッフ全員が避難訓練についての知識、意識を持てるようにする。	12ヶ月
4	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援。事業所として重度化や終末期の対して可能な限り対応していく方針を伝えているが、口頭のみである。	「重度化や終末期の対応指針」を文章化し「意思確認書」を交わす仕組みが望まれる。	「重度化や終末期の対応指針」を文章化し規約時に「意思確認書」を交わす。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。